

出向の強制に 断固「NO!」を

- ◆「1サークル=3人」の強制動員(出向)でしか
成り立たない「全面禁酒制度」なんていない!
- ◆強制動員(出向)でしか維持できない学祭実に
7・13全学説明会で「不信任」の意思表示しよう

社研部員(デザイン工学部2年)より

6月15日の学祭説明会に参加して参りました。今までとは違う規制＝出向制度が注目される論点です。

この「出向制度」というものは、「禁酒の徹底」の名の下に「問題サークル」を狙い撃ちにして学祭活動を縮小させるものであり、そもそも学祭に対する意欲関心を持った学生を学祭実が集められなくなったが故の強制的な「徴兵策」でもあると思います。「飲酒規制の強化」と並んで、祭りの自由をぶち壊す攻撃です。絶対に認められない!

また学祭実は、15日の説明会にて、またしても私たち社研の暴力的排除を正当化しようとしたましたが、やっていることは「反対派の排除」そのものです。そしてこれは、説明会に参加している法大生を、“権力をカサにきて脅せば言うことを聞く連中”と卑下しているとしか思えません。学祭実からすれば、社研のみならずサークル員全体が“信用ならないモノ”“無理矢理従わせる対象”としてしか見ていないようです。

「私たちの自主法政祭は一体どうあるべきか」が問われる事態です。祭りは規則に縛られてまでやるものではなく、自分たちの手で自由闊達に行うものです。目的が見失われている、すり替えられています。いま一度、何に惹かれていた祭りだったのか、考えましょう。今はそういう時ではないでしょうか?



学祭実による反対派の暴力的排除弾劾!(6月15日)

社会科学研究会(文化連盟所属)

houdaisyaken@yahoo.co.jp
<http://08bunren.blog25.fc2.com/>
(文化連盟ブログ)

私たち社研の主張は、以下の4点です。

①「全面禁酒」に絶対反対！

今年度からの「全面禁酒」は絶対に認められません。「マナーの低下」なるものは、学祭実がこれまで相次ぐ規制で学祭から自由と自主性を奪ってきた結果であり、法大生にはまったく責任はありません。そもそも、お酒を飲むことすら禁圧されるなど、もはや祭りではありません。

②「出向の強制」を拒否しよう！

「禁酒」を徹底させるために各サークルから監視役を強制動員するなど、言語道断です。学生が学生を監視し密告するなど、誰も望んでいません。「出向させないと成り立たない禁酒制度」「強制動員をかけないと成り立たない学祭実」というあり方そのものが間違っています。

社研部員(人間環境学部2年)より

今回もまたも、私たち社研を排除してきたわけなのだが、普通「自主」を語っている上では、全学生の参加を認めるのが原則であろう。

彼らが勝手に下ろそうとしている「規制」について少し語りたい。「学生の自治意識の低下」を理由に規制を強化しようとしているのだが、問題の本質は、「マナー」を正すために勝手に決まりごとが増えれば、学生は主体性を失い、「マナー」はさらに悪くなる。押し付けられたルールに従おうとする人間は少ない。従って、また同じようなことが起きる、それが引き金となってまた強化されていく…というスパイラルである。

どうすればよいか？ それは、下手な規制をすべて取り払い、すべてを学生の手任せて運営させるべきである。学祭実はそのための手段に過ぎず、大きな権限を持つものではない。

結果、どうなるか？ それはこうなる。

「それは問題だらけであり、『それはそれでどうなの？』ということが大量に存在する空間である。これは『治安』『秩序』から言わせればやっかいなことこのうえ

③社研の暴力的排除を許さない！

そして、学祭実の一部幹部は、法大当局からの指令に忠実にやろうとしている「禁酒」と「出向」に、サークル員から多くの反対の声が出ていることをよく知っています。公の場で反対されることを恐れています。だからこそ、一貫して「規制反対！」を訴えてきた私たち社研を、デタラメな理由でもって力づくで排除し続けているのです。

④「自主」否定する学祭実「不信任」！

学祭実「自主」を語る資格はありません。学祭を盛り上げるための「出向」ならともかく、弾圧するための「出向」など拒否です。私たちサークル員が声を合わせれば、規制ははね返せます。だからこそ、まずは7・13全学説明会で学祭実を不信任にし、私たちの手で学祭をつくろう！

ない。どこで・いつ・なにが行われるかわからないからである。しかし、そこには人間の活気があり、画一化できない人間的秩序がある」。

こんな学祭だったら面白いでしょうなあ。



「全面禁酒」絶対反対！ 「出向強制」反対！
自主法政祭を法大生の手に取り戻そう！

7・13全学説明会に集まるう！

◆ 7月13日(金) 19時～

◆ 55年館・511教室にて